

鋁工業指数の概要

大臣官房調査統計グループ
経済解析室

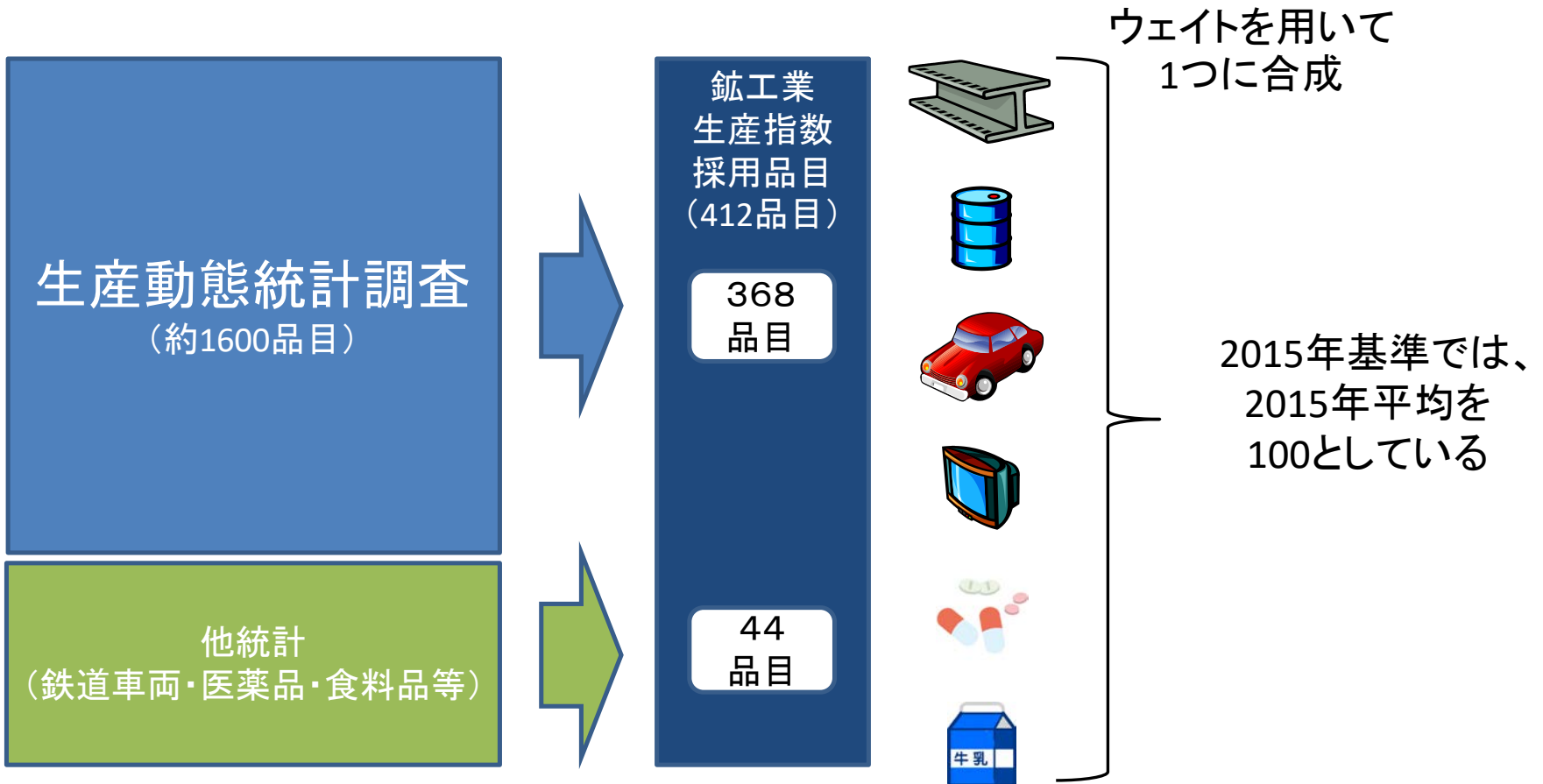
鉱工業指数の作成目的等

- 生産、出荷、在庫、在庫率の各指数、及び生産能力指数、稼働率指数を作成することで、鉱工業製品を生産する国内の事業所における生産、出荷、在庫に係る諸活動、製造工業の設備の稼働状況、各種設備の生産能力の動向の把握を行うことを目的としている。

種類	概要
生産指数 (412品目)	鉱工業生産活動の全体的な水準の推移を示す
出荷指数 (412品目)	生産活動によって算出された製品の出荷動向を総合的に表すことにより、鉱工業製品に対する需要動向を観察する
在庫指数 (292品目)	生産活動によって算出された製品が出荷されずに生産者の段階に残っている在庫の動きを示す
在庫率指数 (285品目)	在庫とその出荷の比率の推移をみることにより、生産活動により算出された製品の需給状況を示す
生産能力指数 (141品目)	製造工業の生産能力を操業日数や設備、労働力に一定の基準を設け、これらの条件が標準的な状態で生産可能な最大生産量を能力として定義し、これを指数化したもの
稼働率指数 (141品目)	製造工業の設備の稼働状況を表すために、生産量と生産能力の比から求めた指数

鉱工業指数の作成プロセスの概要

- 経済産業省生産動態統計調査（基幹統計調査）等の調査品目から採用品目を選定し、基準時固定加重平均法（ラスパイレス指数）数量指数によって作成。
- 指数の作成にあたってのウェイトは、基準時における各品目の付加価値額等を基礎データとして作成。



鉱工業指数を作成するために用いる情報

名称	作成機関・保有機関
経済センサス-活動調査(基幹統計調査)	総務省及び経済産業省
経済産業省生産動態統計調査(基幹統計調査)	経済産業省
薬事工業生産動態統計調査(基幹統計調査)	厚生労働省
牛乳乳製品統計調査(基幹統計調査)	農林水産省
木材統計調査(基幹統計調査)	農林水産省
造船造機統計調査(基幹統計調査)	国土交通省
鉄道車両等生産動態統計調査(基幹統計調査)	国土交通省

上記以外に民間データ等の情報を用いて作成

鋳工業指数の利活用の状況

- 政府、民間研究機関等における景気動向の把握・分析や、先行き見通し検討のための基礎資料
- 月例経済報告における基調判断（生産）、景気動向指数等の作成
- 政府の各種白書等における分析のための基礎資料
- 主要経済指標として、国際機関等における各国の鋳工業生産の動向把握
- 国民経済計算の作成に係る基礎資料 等

鉱工業指数の公表の時期と種類

- 生産指数、出荷指数、在庫指数及び在庫率指数は作成対象月の翌月末に速報を公表し、作成対象月の翌々月中旬に生産能力指数及び稼働率指数を含めた確報を公表。
- また、基礎データの確定や季節指数の再計算に伴って前年1年間の数値を修正。
- なお、ウェイト、採用品目及び基準年については、5年に1度改定する。

	公表時期	内容
速報	翌月末	生産・出荷・在庫・在庫率指数の速報値
確報	翌々月中旬	生産・出荷・在庫・在庫率指数の確報値、生産能力・稼働率指数
年間補正	翌年4月	各指数の確定値
基準改定	5年ごと	新たな基準年での指数値

例：2019年1月分のデータの公表時期

